

からくり人形が舞い
囃子が一段と競り込む
静寂を破る拍子木の音に
曳き手も 桿方も 観客さえも
なんだか鼓動が早くなる
トキメキとは
想いが繋がるとは
この事かもしれない

山車は物語で出来ている
そう強く感じられる日が
五年振りにやってくる
このまちの風情も
若衆の唄う伊勢音頭にも
黒板塀から漂う香りにさえも
ふるさとを誇りに想える一日が・・・
錦秋に染まるとは
この事かもしれない

武豊山車まつり

第6回



beyond
2020

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan



10/13 日

雨天順延: 10/14 月 祝

【会場】武豊町民会館 (ゆめたろうプラザ)

【問合せ】第6回 武豊ふれあい山車まつり実行委員会事務局 (武豊町役場 企画政策課 ☎0569・72・1111)



当日の山車の位置や
会場周辺の情報を
WEB 上でご覧頂けます。

ZENRIN 文化-SAI



山車まつりの情報は、
武豊町公式HPから
ご覧下さい。



知多型山車の構造

出典：半田の山車ガイドブック

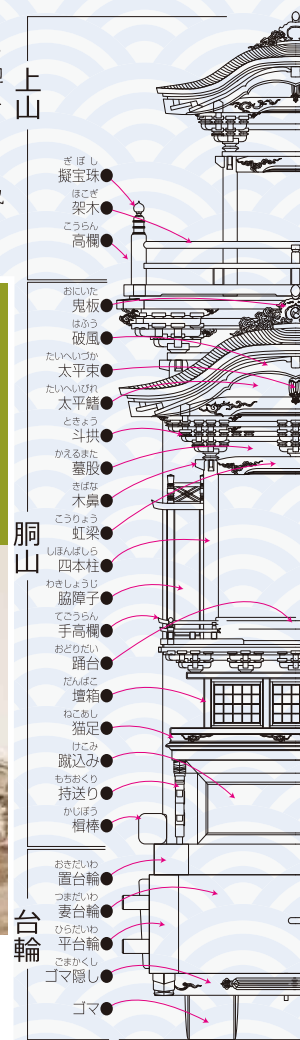
知多地方の山車は、知多型と名古屋型に大別され、知多型は半田市を中心に知多半島の中部から南部にかけ広く分布し、全体の凡そ8割を占めます。部材名は地区ごとに異なるものもありますが、その構造は上山と胴山・前山の二層構造で、斗供は櫓、紫檀、黒檀などの白木彫刻で飾ります。また古い形態を残す山車には極彩色の漆箔も見られます。

上山は台輪の中と柱の間にあるせり上げ構造で、下駄箱の綱を引くだけで上下出来ます。その激しい曳き廻しにも耐えるよう柔構造になっており、胴山全体を支える為のハンド綱を2〜4

本張りります。

胴山には大幕と水引幕、上山の後ろに追幕を掛け、その多くに金銀極彩色の豪華な刺繍が施されます。狭い町内を曳き廻せるよう、車輪(ゴマ)が内側にあり、追幕の左右に長い竿を一对立て、その先に吹貫をなびかせます。

武豊が誇る11輛の山車とからくり人形などの伝統芸能、曳き手と囃子方のあふれる躍動感に、文字通り「ふれあい」の1日を過ごしに・・・みなさまのお越しをお待ちしています。



交通アクセス

■電車でお越しの方へ

【名鉄線ご利用の場合】

名鉄名古屋駅(河和行き・内海行き)→名鉄知多武豊駅下車 徒歩約20分



【JR線ご利用の場合】

JR名古屋駅(大府行き・武豊行き)→(乗換)JR大府駅(武豊行き)→JR武豊駅下車 徒歩約25分



■お車でお越しの方へ

名古屋高速or伊勢湾岸自動車道→知多半島道路経由→武豊IC下車→臨時駐車場(台数制限あり)

会場周辺は交通規制により大変混雑するため、公共交通機関をご利用下さい。

